

B.LEAGUEの考える 「夢のアリーナ」

第2回中野駅新北口駅前エリアアリーナ整備
官民連携協議会

January 22th, 2018



B.LEAGUE

BREAK THE BORDER

B1 平均入場者数現状

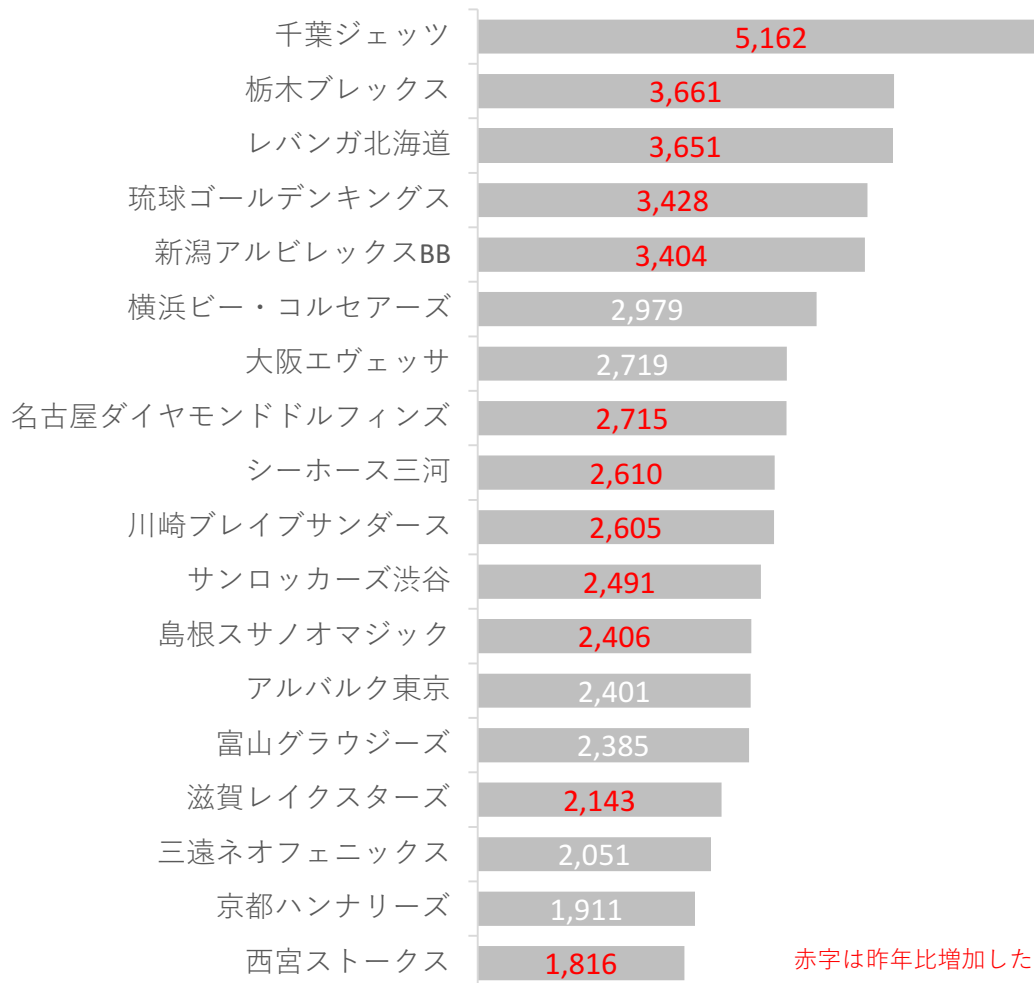


千葉が5,000人突破。B1B2 合計では昨年比8%成長。

2016-17シーズン

1	千葉ジェッツ	4,503
2	栃木ブレックス	3,356
3	琉球ゴールデンキングス	3,321
4	秋田ノーザンハピネッツ	3,058
5	新潟アルビレックスBB	3,014
6	横浜ビー・コルセアーズ	3,009
7	レバンガ北海道	2,796
8	大阪エヴェッサ	2,769
9	名古屋ダイヤモンドドルフィンズ	2,703
10	シーホース三河	2,501
11	アルバルク東京	2,483
12	富山グラウジーズ	2,482
13	川崎ブレイブサンダース	2,449
14	仙台89ERS	2,419
15	三遠ネオフェニックス	2,347
16	サンロッカーズ渋谷	2,283
17	滋賀レイクスターズ	2,138
18	京都ハンナリーズ	1,945

2017-18シーズン



赤字は昨年比増加したクラブ

「人が集まる」

- アリーナは「非日常のイベント集客」のみならず「地域交流人口増大の起爆剤」。「真の公共性（＝地域内外の人々の利用）」のためにも「複合化」が肝。

医療・健康



鹿島スタジアム

年間利用者数 約**60**万人
(鹿島市人口6万人)

併
設
施
設

- クリニック
- フィットネスジム・ランニングコース
- ビアガーデン・レストラン

交流拠点



アオーレ長岡

年間利用者数 約**130**万
人
(長岡市人口28万人)

併
設
施
設

- ナカドマ（屋根付き広場）
- 多目的ホール・シアター
- 市役所など行政サービス

地域戦略の
起爆剤

“夢のアリーナ”

スポーツ・文化



Exposition Park

併
設
施
設

- 運動公園・博物館・美術館・図書館
- ブックカフェ・アスリートレストラン
- 宿泊施設・合宿施設・研修施設

エンターテイメント



Staples center

併
設
施
設

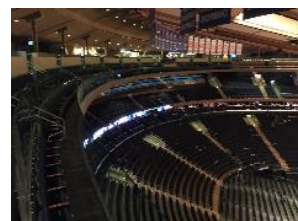
- ショッピングモール
- ホテル
- 映画館

「人が滞留する」

- 人が滞留するためには試合観戦のみならずプレミアムな体験が不可欠

多様な楽しみ方ができる席種

“Show room”



すり鉢状のアリーナ



スタンド席



コートサイド席



車椅子席



ボックス席

人の滞留を生み出す

“コンコース”

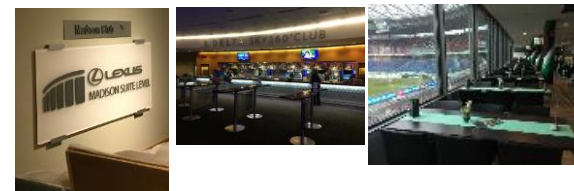


種類	概要
売店	グッズ・飲食・地域PR ショップ 等
展示・イベントエリア	キッズスペース・ファン向けイ ベント・クラブ展示
アメニティ	トイレ・ユニバーサルトイレ・託 児所・授乳室
フリースペース	飲食などを楽しむテー ブルや席
設置端末	ATM、チケット券売機、ファン クラブ端末 等
付帯設備	WiFi、サイネージ、広告、 パンフレット 等

Premiumな体験の提供・ビジネス創出

“VIPエリア”

VIPラウンジ



命名権 ラウンジ パノラマシート

VIPルーム



観戦
ソファ

VIP席

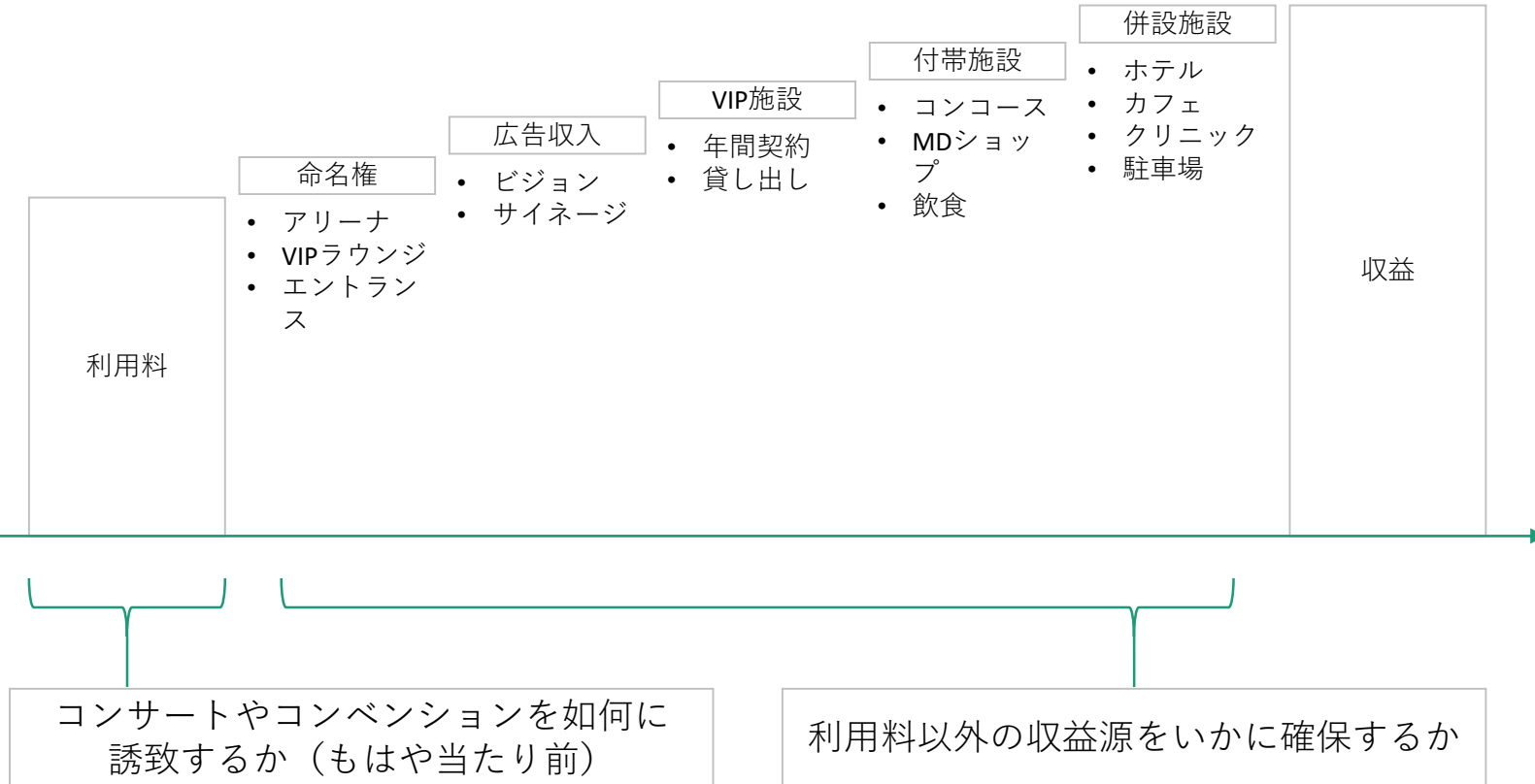


モニター付
シート
ラウンジ直結

「夢のアリーナ」の要件



- アリーナの収益性を高めるために利用料収入の最大化は当たり前。いかに利用料以外の収益源を確保するかが最重要。



- ⇒①人が集まる、②人が滞留する
- ⇒③企業にとって魅力がある